

# ランピースキン病

国内で、2024年11月6日に発生が確認されました

Point

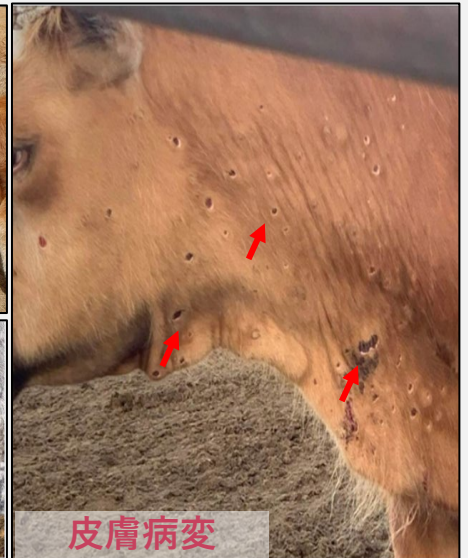
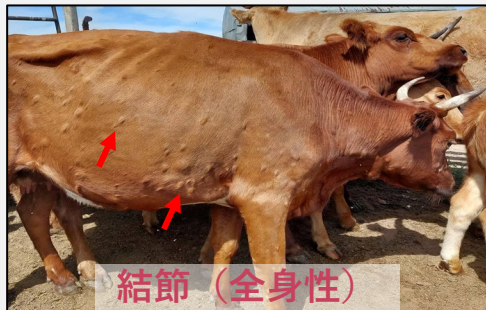
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

## ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁  
皮膚の結節  
泌乳量の低下  
リンパ節の腫大



疑わしい場合は  
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所  
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

## ランピースキン病の侵入防止対策

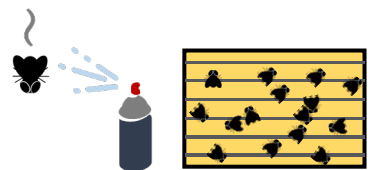
### 01 毎日の健康観察

早期発見・早期連絡が重要。  
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、  
出荷、移動時は健康観察を徹底。



### 02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、  
粘着シート等も活用。



### 03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

# ランピースキン病の感染拡大防止！

## 車両や人による

### 農場から農場への伝播を防止しましょう

ランピースキン病は、主にサシバ工等による機械的伝播により感染が拡大しますが、車両や人もウイルスを運ぶ可能性があります。

#### 車両がウイルスを運ばないために

農場の自家用車、集乳車、飼料運搬車、獣医師、人工授精師、薬品・資材業者、家畜運搬業者、関係団体など農場に出入りする全ての車両

- 農場に出入りする**全ての車両**は**洗浄・消毒、殺虫**を徹底！
- **車内に入り込んだサシバ工等**も、**確実に殺虫**！

特に寒い時期、サシバ工等は温かい車両に集まりやすく、車内にも侵入します。

車体に  
集まったハ工



資材（牧草ロールや敷料など）にもサシバ工等が入り込む可能性があるため、搬入時確認！

#### 人がウイルスを運ばないために

特に獣医師、人工授精師等、牛に直接接触する者

- 農場ごとに**専用の衣服、長靴（ブーツカバー）**交換の徹底！
- **注射針、人工授精用器具等**は確実に一頭ごとに交換又は消毒！
- **聴診器等、皮膚に接触する器具**も適切に消毒！

農場から農場への感染拡大防止！

